

福島再生加速化交付金（第50回）
《福島定住等緊急支援【地域魅力向上・発信支援事業】
（地域情報発信交付金） 第1回》の交付可能額通知について

「福島再生加速化交付金（福島定住等緊急支援【地域魅力向上・発信支援事業】）（地域情報発信交付金）」について、本日、以下のとおり交付可能額を通知します。

1. 交付可能額について

1 県 11 市町村に対して国費約 64 百万円（全体事業費約 135 百万円）。

※計数は精査の結果、今後変動があり得ます。県及び市町村別の計数は別紙1のとおりです。

2. 主な交付対象事業

○地域の魅力向上・発信事業《国費約 64 百万円（全体事業費約 135 百万円）》

- ・福島県・いわき市・白河市・田村市・南相馬市・鏡石町が主体となり、地元産品や観光名所といった地域の魅力を広く知ってもらうための情報発信コンテンツ（動画等）の作成・発信や、風評被害の実態を正しく把握するために行う調査等に係る事業を実施します。
- ・福島市・田村市・本宮市・楡葉町・飯舘村が主体となり、地域の復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等を体験等してもらうためのイベントやモニターツアー等の開催に係る事業を実施します。
- ・南相馬市・国見町・石川町が主体となり、自治体が作成する地域のポータルサイト等の構築に係る事業を実施します。

《別添資料》

- ・別紙1：福島再生加速化交付金（第50回）《地域情報発信交付金 第1回》県及び市町村別交付可能額
- ・別紙2：地域情報発信交付金 第1回事業概要
- ・別紙3：地域情報発信交付金 事業概要

本件連絡先 復興庁原子力災害復興班 担当：伊月、鈴木、山崎

電話：03-6328-0248 FAX：03-6328-0295

福島再生加速化交付金第50回

福島定住等緊急支援【地域魅力向上・発信支援事業】（地域情報発信交付金）第1回
交付可能額

(単位：千円)

No	事業 実施 主体		事業名	第1回 交付対象 事業費	交付可能額 (国費)
福島県事業				16,761	4,574
1	福島県	A	被災地農業再生促進事業	6,700	1,829
2	福島県	A	ふくしまの園芸農業の魅力発信事業	10,061	2,745
福島市事業				2,000	1,000
3	福島市	A	「ふくぶん（福島らしい文化）」発信事業	2,000	1,000
いわき市事業				14,980	7,490
4	いわき市	A	いわきの魅力レベルアップ！ 動画マーケティング事業	14,980	7,490
白河市事業				20,000	10,000
5	白河市	A	白河市風評払拭情報発信事業	20,000	10,000
田村市事業				3,485	1,742
6	田村市	A	風評払拭地域産品ブランド情報発信事業	2,486	1,243
7	田村市	A	風評払拭オンラインクッキング事業	999	499
南相馬市事業				23,008	11,504
8	南相馬市	A	食を通じた魅力向上事業	15,000	7,500
9	南相馬市	A	南相馬市農産物等PR事業	8,008	4,004
本宮市事業				9,738	4,869
10	本宮市	A	もとみや魅力向上発信事業	9,738	4,869
国見町事業				3,000	1,500
11	国見町	A	国見町魅力向上発信事業	3,000	1,500
鏡石町事業				11,000	5,500
12	鏡石町	A	鏡石町デジタルコンテンツ発信事業	11,000	5,500
石川町事業				12,299	6,149
13	石川町	A	石川町地域情報発信事業	12,299	6,149
檜葉町事業				16,674	8,337
14	檜葉町	A	アウトドアコンテンツを軸とした檜葉の 魅力体感・発信事業	16,674	8,337
飯舘村事業				2,332	1,166
15	飯舘村	A	飯舘YOITOKO発見！ツアー	2,332	1,166
合計				135,277	63,831

注) 端数処理により、合計と一致しない場合があります。

福島定住等緊急支援【地域魅力向上・発信支援事業】 (地域情報発信交付金) 第1回 に係る交付金の交付について

地元産品や観光名所といった地域の魅力を発信するイベント等、福島 of 各自治体が企画・実施する風評払拭に向けた取組を支援するため、地域情報発信交付金を募集(7月27日～8月12日)。
▶1県11市町村より、15事業(国費約64百万円(事業費約135百万円))について、交付可能額の通知を行う。

風評動向調査 ・情報発信コンテンツ作成

白河市風評払拭情報発信事業【白河市】

市の特産物・観光地等に対する認知度や関心度等を把握するためアンケート調査を実施し、PR方法の見直しを行うとともに、新聞・WEB等を活用した広告等の展開や、首都圏最大級の進学相談イベントへの出展など、総合的な情報発信の取組を進める。

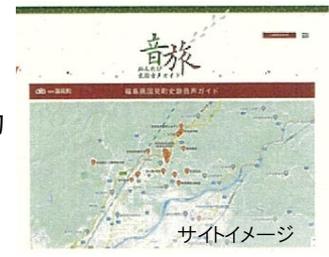


- <他事業>
- ・被災地農業再生促進事業【県】
 - ・いわきの魅力レベルアップ！動画マーケティング事業【いわき市】
 - ・ふくしまの園芸農業の魅力発信事業【県】
 - ・食を通じた魅力向上事業【南相馬市】
 - ・鏡石町デジタルコンテンツ発信事業【鏡石町】
 - ・風評払拭地域産品ブランド情報発信事業【田村市】

ポータルサイト構築

国見町魅力向上発信事業【国見町】

町内の文化財・観光施設を紹介する「観光用音声ガイド」が組み込まれたポータルサイトを開設。また、WEB広告や観光ガイドの配布により町の魅力を発信する。



- <他事業>
- ・南相馬市農産物等PR事業【南相馬市】
 - ・石川町地域情報発信事業【石川町】

体験等企画実施(モニターツアー)

アウトドアコンテンツを軸とした 檜葉の魅力体感・発信事業 【檜葉町】

アウトドアをテーマにモニターツアーを開催し、参加者によるSNS投稿を通じて情報発信を行う。また、町の観光資源をPRする動画制作や、観光特設サイトの作成を行う。



事業実施箇所(木戸川渓谷)

- <他事業> 飯館YOITOKO発見！ツアー【飯館村】

体験等企画実施(イベント)

もとみや魅力向上発信事業 【本宮市】

「みずいろの都市 本宮市」をPRするため、SNS、ラジオ、WEB等を活用した広報を実施する。また、川辺空間をフォトスポットとして整備し、Instagram等でフォトコンテストを開催する。



事業イメージ

- <他事業> 「ふくぶん(福島らしい文化)」発信事業【福島市】
風評払拭オンラインクッキング事業【田村市】

地域情報発信交付金

【別紙3】

福島再生加速化交付金（福島定住等緊急支援【地域魅力向上・発信支援事業】）

事業概要・目的

- 福島県の本格的な復興・創生に向けては、今もなお続く風評を払拭することが重要であり、特に、「ALPS処理水の処分に関する基本方針」が決定された中で、処理水にかかる風評を抑制する必要がある。
- そのためには、国内外に向けて国による科学的根拠に基づく正しい情報の発信に加え、市町村等自らが継続的に地域の取組・魅力等を発信し続けていくことが効果的である。
- 風評の影響は地域によって様々であり、また地域の復興の進捗状況や情報発信体制にも差があるところ。それらを踏まえ、市町村等が自らの創意工夫によって必要な取組を企画・実施することが重要。
- このため、市町村等が自らの創意工夫によって地域の復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等について理解を深めるための情報発信やイベントの実施等を継続的に取り組む環境整備について支援し、継続的に発信できる基盤を整えるとともに風評の払拭を図る。

期待される効果

- 地域の魅力等の情報発信を持続的に実施できる体制づくり及び福島県産品等への風評払拭を促進することにより、福島の復興・再生を加速することが期待される。

資金の流れ

復興庁

各市町村
県

事業イメージ・具体例

- (1) 対象自治体
福島県内の全市町村（59市町村）及び福島県
- (2) 事業メニュー
 - ①地域の魅力向上・発信事業
【情報発信事業】
 - ・風評動向調査、体験等企画実施、
情報発信コンテンツ作成、ポータルサイト構築
【人材活用事業】
 - ・企画立案のための外部人材の活用、地域の語り部の育成
 - ②関連施設の改修
地域の魅力向上・発信事業と一体的に行うための関連施設の改修
- (3) 交付率 1/2※ ※ただし、交付限度額と比較していずれか低い額（別途、震災復興特別交付税による地方負担軽減措置あり）